



WorkWithPlus 7.2

インストールガイド

2015 年 3 月更新



GeneXus Japan Inc.

Copyright © 2015 GeneXus Japan Inc. All rights reserved.

本書には正確な情報を記載するように努めました。ただし、誤植や制作上の誤記がないことを保証するものではありません。なお、本書に記載されている画面はソフトウェアの更新などにより予告なく変更される場合があります。ご了承ください。

本書に記載のその他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。GeneXus Japan Inc. は他社製品の性能または使用につきましては一切の責任を負いません。

ジェネクス・ジャパン株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田 2 丁目 27 番 3 号 五反田フロント

電話番号 : 03-6303-9381 FAX : 03-6303-9980

<http://www.genexus.jp>

目次

はじめに	4
WorkWithPlus 7.2 について	5
MIT ライセンスについて	5
システム要件	6
アプリケーションのインストール	7
Dvelop.ProtectionServer のインストール	9
重要：旧バージョンのライセンスファイルのアップデートについて	12
ライセンスの請求	15
新規ライセンス請求	15
継続ライセンス請求	19
アプリケーションのアップグレード	21
ライセンスの取得	25
ライセンスの移行	28
2台のコンピューター間でライセンスを移行する	28
ネットワーク上のユーザーにライセンスを移行する	34
ライセンスのアンインストール	39
アプリケーションのアンインストール	40
ライセンスの再発行について	43
エビデンスファイルを提出できる場合	43
エビデンスファイルを提出できない場合	45
緊急ライセンスの発行依頼	46
緊急ライセンスを利用するには	46
緊急ライセンス用トランスファーファイルを作成する	47
トランスファーファイルを取り込む	48



はじめに

本書では、WorkWithPlus のインストール、ライセンスの請求および登録、ライセンス移行手順について説明しています。また、何らかのトラブルによって、ライセンスを喪失してしまった場合の再発行の手順についても説明しています。

ライセンス請求の前に注文書を弊社宛に郵送して頂く必要があります。また、弊社での注文書の確認前にライセンスの請求を行うと、ライセンスの発行が遅れる場合があります。なお、事前にユーザー登録された担当者以外のライセンスの請求は受け付けておりません。

WorkWithPlus のライセンスの転売は禁止されております。同一のお客様および組織変更などの場合を除き、ほかのお客様に変更／譲渡することはできません。ライセンスの請求・登録の際には必ず内容を確認し、ライセンスの取り扱いには十分に注意してください。



WorkWithPlus 7.2 について

WorkWithPlus の最新バージョンである 7.2 では、スマートで直観的、柔軟且つパワフルなフロントエンドフレームワーク「Bootstrap 3.0」が採用されています。「Bootstrap」は、Twitter に搭載された最も人気の高いフロントエンドフレームワークであり、世界的なオープンソース(MIT ライセンス*)プロジェクトの 1 つです。

WorkWithPlus 7.2 では、従来の WorkWithPlus のシステム要件であった「Ext JS」および「gxui Library」のインストールは不要です。

MIT ライセンスについて

MIT ライセンスとは、BSD ライセンスに基づくオープンソースライセンスの 1 つです。このライセンスの概要は次のとおりです：

1. 本ソフトウェアを無償・無制限で誰でも使用することが可能である。ただし、著作権表示ならびライセンスの全文（原文）をソースコード内またはソースコードに同梱したライセンス表示用の別ファイルなどに記載する必要がある。
2. 作者または著作権者はソフトウェアに関してなんら責任を負わない。

MIT ライセンスの原文および日本語訳文については以下を参照してください。

- オープンソース・イニシアティブの MIT ライセンスの原文

<http://opensource.org/licenses/mit-license.php>

- オープンソースグループ・ジャパンの MIT ライセンス日本語訳文

http://sourceforge.jp/projects/opensource/wiki/licenses%2FMIT_license



システム要件

WorkWithPlus 7.2 を実行するには、次のソフトウェアが必要です。

- GeneXus X Ev2、GeneXus X Ev3

重要 : WorkWithPlus 7.2 は GeneXus X Evolution 1 およびそれ以前のバージョンには対応していません。

重要 : WorkWithPlus 7.2 より、ライセンスファイルが GeneXus License Manager 形式に変更されました。従来のライセンスファイル (Runtime.config) をお使いの場合、WorkWithPlus 7.2 でそのままご使用頂けますが、アプリケーションをアンインストール場合には、**ライセンスをアンインストールする必要があります**。旧バージョンのライセンスをアンインストールする手順については、旧バージョンの WorkWithPlus のインストーラに付属のインストールガイドを参照してください

参考 : GeneXus のシステム要件については、GeneXus に付属のインストールガイドを参照してください。

注意 : WorkWithPlus で「Excel エクスポート」機能を使用するには、web\bin 内に「Jakarta.POI.dll」を配置する必要があります。

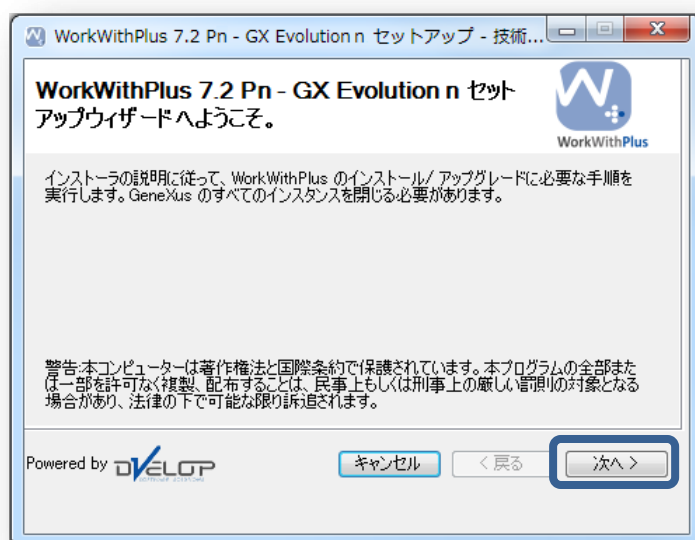
アプリケーションのインストール

このセクションでは、WorkWithPlus のインストール、およびライセンスの請求手順について説明します。

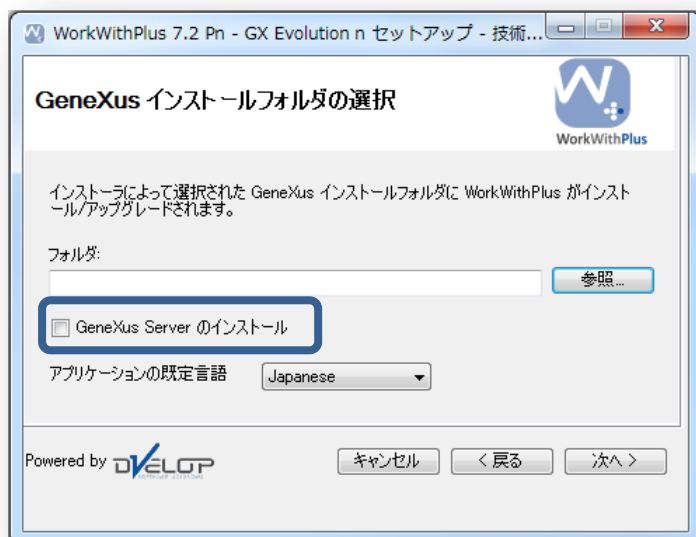
1. GeneXus Japan Web ページから製品版の Work With Plus 7.2 のアプリケーションをダウンロードします。

<http://www.genexus.com/products-japan/www?ja>

2. 「DVelopWorkWithPlus_7.2.zip」を解凍します。
3. 「DVelopWorkWithPlus_7.2_Pn_Evn_Setup.exe」をダブルクリックして、インストーラを起動します。



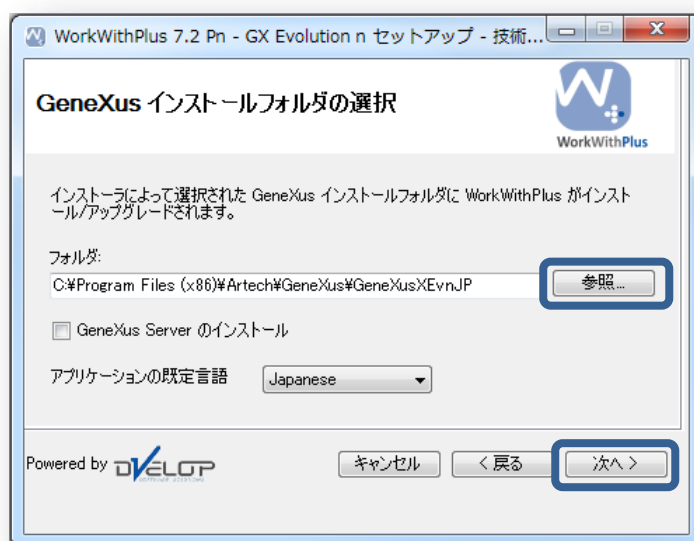
4. 「次へ」をクリックします。次のようなインストール先のフォルダを指定する画面が表示されます。



参考：「GeneXus Server のインストール」チェックボックスは GeneXus Server X にインストールする場合にのみ、選択してください。なお、GeneXus Server X にインストールする場合、ライセンスが不要なため、サイトコードの生成とライセンスファイルの取得プロセスはありません。

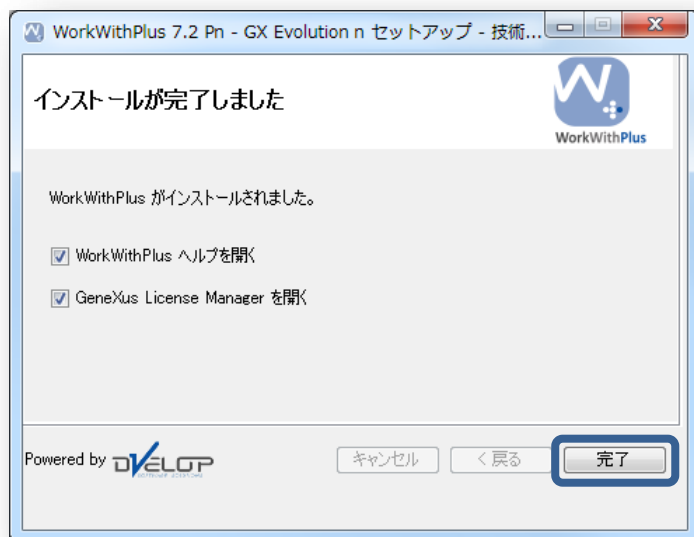
5. 「参照」をクリックして、次のようにインストール場所を指定します：

「C:\Program Files\Artech\GeneXus\GeneXusXEvJP」





6. 「次へ」をクリックします。次のようなインストール完了画面が表示されます。



7. 「完了」をクリックします。これでインストールは完了です。「GeneXus License Manager を開く」オプションが選択されている場合（既定）、ライセンスを請求するための「GeneXus License Manager」が開きます。

ライセンスの請求については、後述の「[ライセンスの請求](#)」を参照してください。

Dvelop.ProtectionServer のインストール

Protection Server をお使いの場合、次の手順に従って Protection Server がインストールされているコンピューターまたはサーバーに「Dvelop.ProtectionServer」をインストールする必要があります。

1. Protection Server がインストールされているマシンに「Dvelop.ProtectionServer_1.1」をコピーします。

2. 「DVelop.ProtectionServer_1.1」をダブルクリックします。次のような画面が表示されます。



3. 「次へ」をクリックします。次のようなインストール完了画面が表示されます。

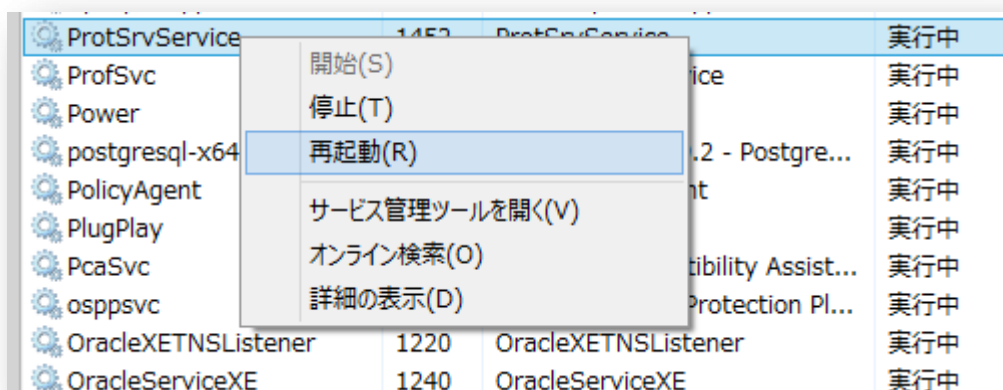


4. 「完了」をクリックすると、GeneXus Protection Server が起動します。
5. この段階では、「Product」に WorkWithPlus がリストされていないため、GeneXus Protection Server を終了します。

6. 「タスクマネージャー」を起動し、「サービス」タブをクリックします。次のような画面が表示されます。



7. 「ProtSrvService」を右クリックし、コンテキストメニューから「再起動」をクリックします。



8. GeneXus Protection Server の「Product」に「WorkWithPlus」がリストされていることを確認します。

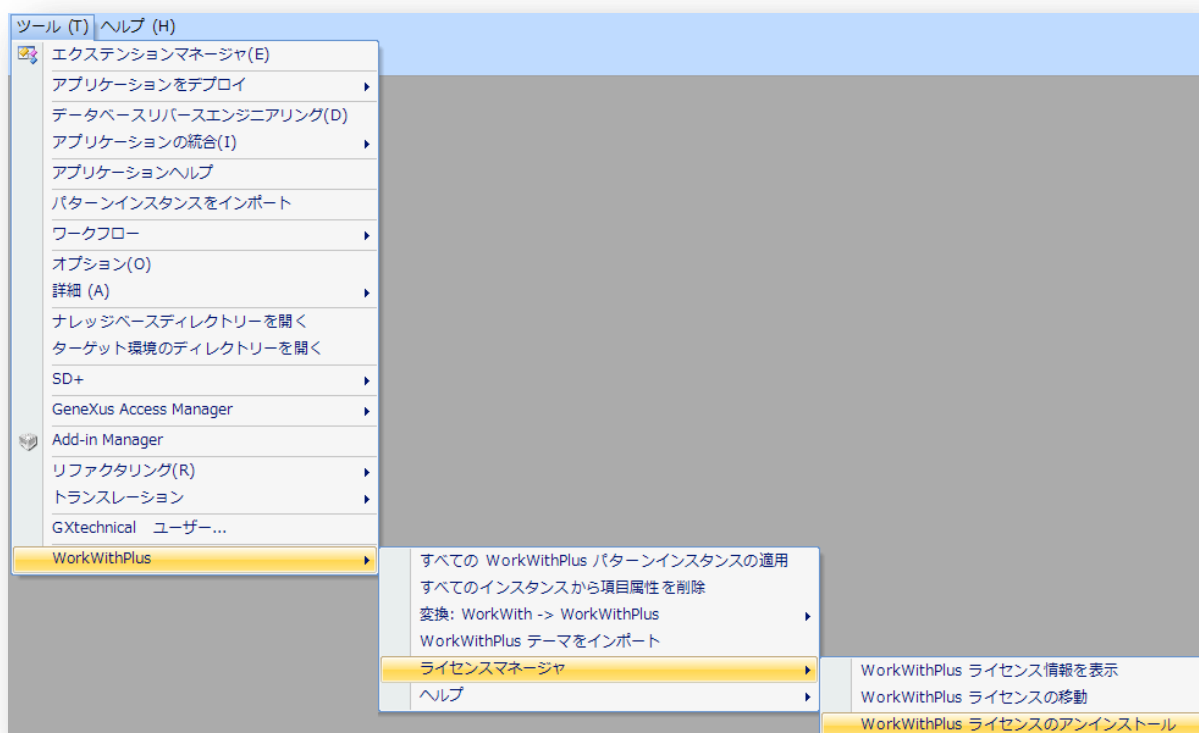
重要：旧バージョンのライセンスファイルのアップ デートについて

WorkWithPlus 7.2 より、ライセンスファイルが GeneXus License Manager 形式に変更されました。従来のライセンスファイル（Runtime.config）をお使いの場合、WorkWithPlus 7.2 でそのままご使用頂けます。

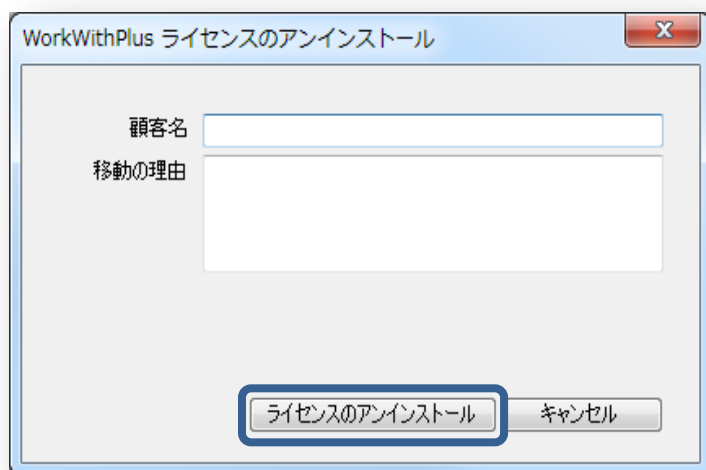
このセクションではライセンスの残存日数がある状態で、従来のライセンスファイルから GeneXus License Manager 形式のライセンスにアップデートする方法について説明します。

注意： GeneXus License Manager 形式のライセンスに変更する場合、従来の Runtime.config ファイルをアンインストールする必要があります。一度アンインストールした Runtime.config ファイルは使用できなくなります。

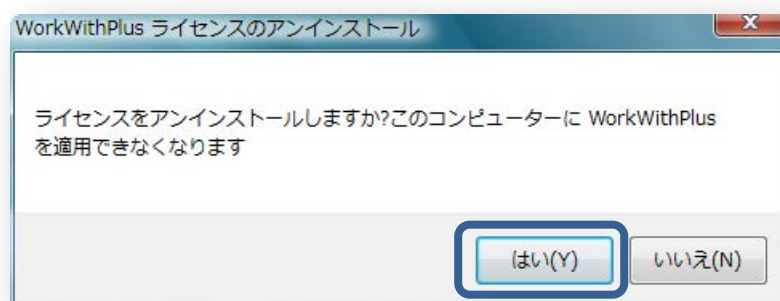
1. WorkWithPlus 7.2 がインストールされている GeneXus を起動します。
2. 「ツール」 > 「WorkWithPlus」 > 「ライセンスマネージャ」 > 「WorkWithPlus ライセンスのアンインストール」と選択します。



次のような「WorkWithPlus ライセンスのアンインストール」画面が表示されます。



3. 「顧客名」フィールドに会社名、「移動の理由」フィールドに理由を入力し、「ライセンスのアンインストール」をクリックします。
4. 「Uninstall.WorkWithPlus」ファイルの保存先を指定するダイアログが表示されたら、保存先を指定し、「OK」をクリックします。
5. 次のようなメッセージが表示されます。アンインストールする場合には「はい」をクリックします。このとき、「Uninstall.WorkWithPlus」ファイルが自動生成され、手順 4 で指定した場所に保存されます。



6. 「WorkWithPlus ライセンスのアンインストール」ダイアログが表示されます。記載されているライセンスのアンインストール手順を確認し、「OK」をクリックします。



7. 既定の Web ブラウザが起動し、「ライセンスのアンインストール」ページが表示されますが、このページには何も入力せず、そのまま閉じます。
8. 新規メールを作成し、**以下のファイル**をご購入の販売店または keysmaster@genexus.jp に送信します。
- a) 前述の手順 4 で保存した「Uninstall.WorkWithPlus」ファイル
 - b) GeneXus License Manager で生成した「.gxa」ファイル

このときメールの件名を次のようにしてください：**WWP ライセンス形式の更新**

重要：販売店から WorkWithPlus を購入されたお客様の場合、上記のファイルを販売店宛に送信し、販売店からライセンスキーを受領してください。GeneXus License Manager を使用したライセンス請求の詳細については、次の「[ライセンスの請求](#)」を参照してください。

9. ライセンスが格納された「.gxa」ファイルが届いたら、後述の「ライセンスの取得」セクションの手順にしたがって、ライセンスを取り込みます。

ライセンスの請求

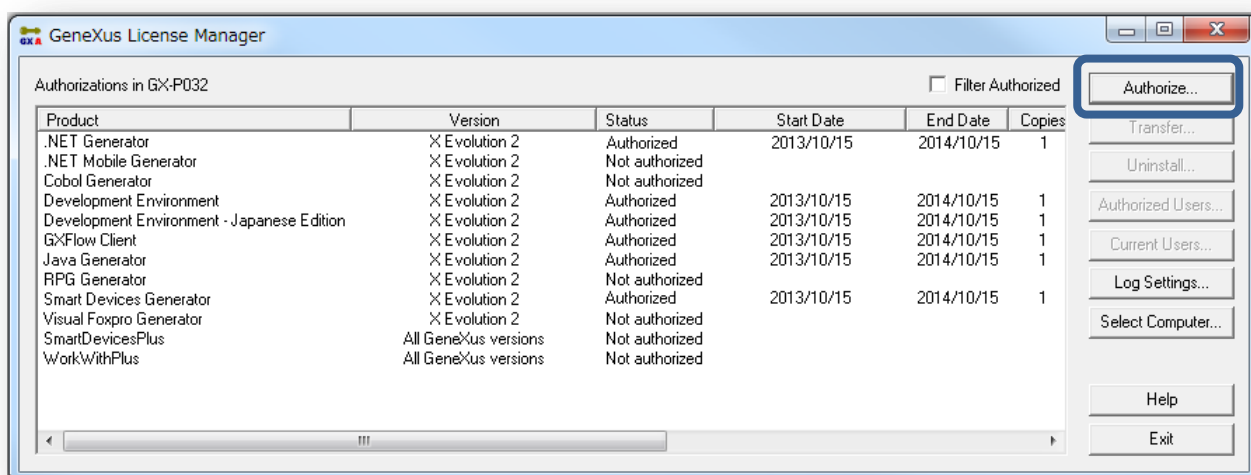
このセクションでは、ライセンスを新規で請求する場合、ライセンスの使用期限を残した状態で継続（期限の延長）請求する場合のそれぞれの手順について説明しています。

重要：以前のバージョンのライセンスキーファイル（Runtime.config ファイル）が有効期限内である場合、「GeneXus License Manager」によるライセンスの請求は不要です。ただし、回目のライセンス更新の際には、「GeneXus License Manager」によるライセンスの請求が必要となります。

新規ライセンス請求

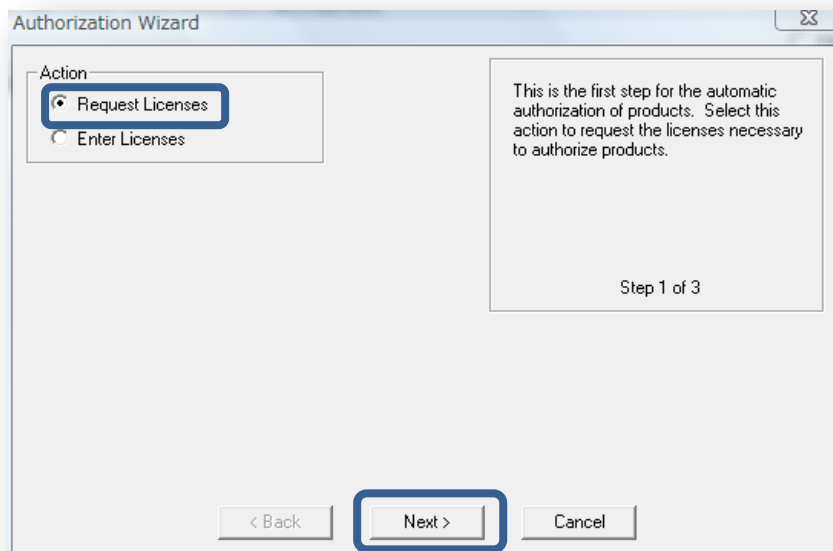
1. 「アプリケーションのインストール」の手順 7 に従って「GeneXus License Manager」を起動します。
また、GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動することもできます（Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします）。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。



2. 「**Authorize**」 ボタンをクリックします。

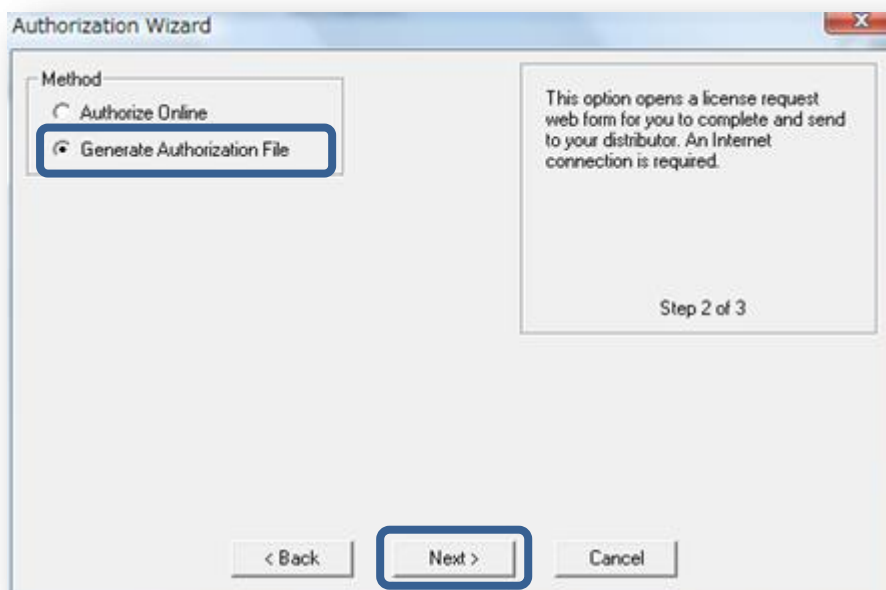
ライセンスの請求または取り込みオプションが表示されます。



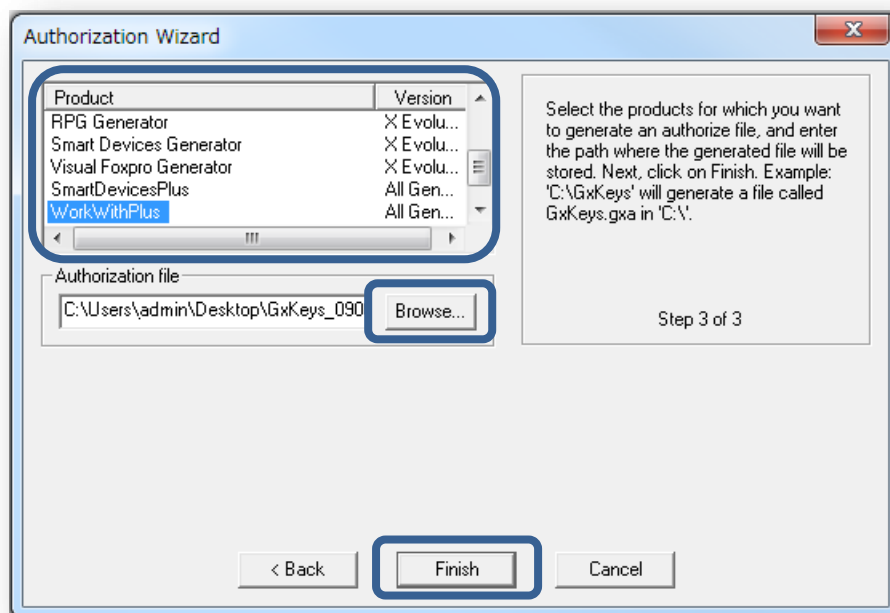
3. 「**Request License**」を選択してから「**Next**」ボタンをクリックします。

次のようなライセンス請求方法の選択画面が表示されます。

4. 「**Generate Authorization File**」を選択してから「**Next**」ボタンをクリックします。

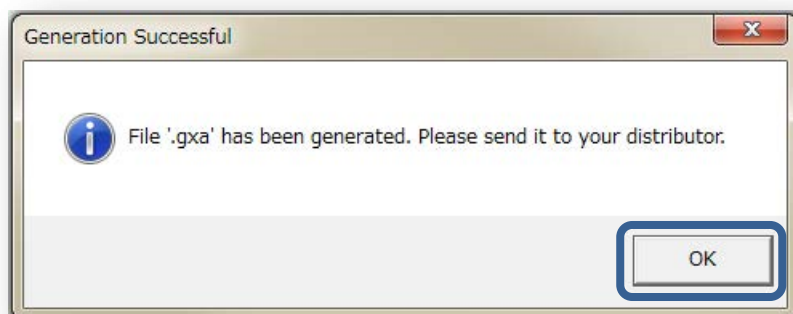


ライセンスを請求する製品の選択画面が表示されます。



5. 「**Product**」リストから「**WorkWithPlus**」を選択してから、「**Finish**」ボタンをクリックします。
6. 「**.gxa**」という名前のファイルが生成されます。このファイルの保存先を変更する場合には、「**Browse**」ボタンをクリックしてから、任意の場所を指定します。

「**.gxa**」ファイルが生成されたことを示す、次のようなダイアログが表示されます。



7. 「**OK**」ボタンをクリックします。保存先を変更していない場合、GeneXus のプログラムと同じ場所に「**.gxa**」ファイルが保存されます。





8. 手順7で生成された .gxa ファイルの名称を「WWP_XXXX.gxa」のように変更します。「XXXX」には注文書に記載されているライセンス番号を入力してください。
9. お使いのメールアプリケーションで新規メールを作成し、上記の手順で生成した「.gxa」ファイルを keysmaster@genexus.jp に送信します。

重要：販売店から WorkWithPlus を購入されたお客様の場合、「.gxa」ファイルを販売店宛に送信し、販売店からライセンスキーを受領してください。受領したライセンスキーを取り込む方法については、後述の「[ライセンスの取得](#)」を参照してください。

これで WorkWithPlus のライセンス請求は完了です。ライセンスキー ファイルを登録する方法については、後述の「[ライセンスの取得](#)」を参照してください。

重要：ライセンスの発行は DVelop 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行なってください。

ライセンス請求受付時間

土日祝日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

継続ライセンス請求

ライセンスの有効日数が残存している状態で、有効日数を延長（ライセンスを継続）することができます。このセクションでは、継続ライセンス請求について説明します。

重要： GeneXus License Manager の「Status」が「Expired」になると、ライセンスが失効されるため、新規にライセンスを請求しなおす必要があります。ライセンスの期限切れを防ぐため、ライセンスの継続請求は 5 営業日前までをお願い致します。

有効期限よりも早めに継続請求を頂いた場合は、1 年間分の有効期間に早めに頂いた日数分をプラスしライセンスを発行致します。

例）＜2014 年 10 月 15 日まで有効のライセンス＞

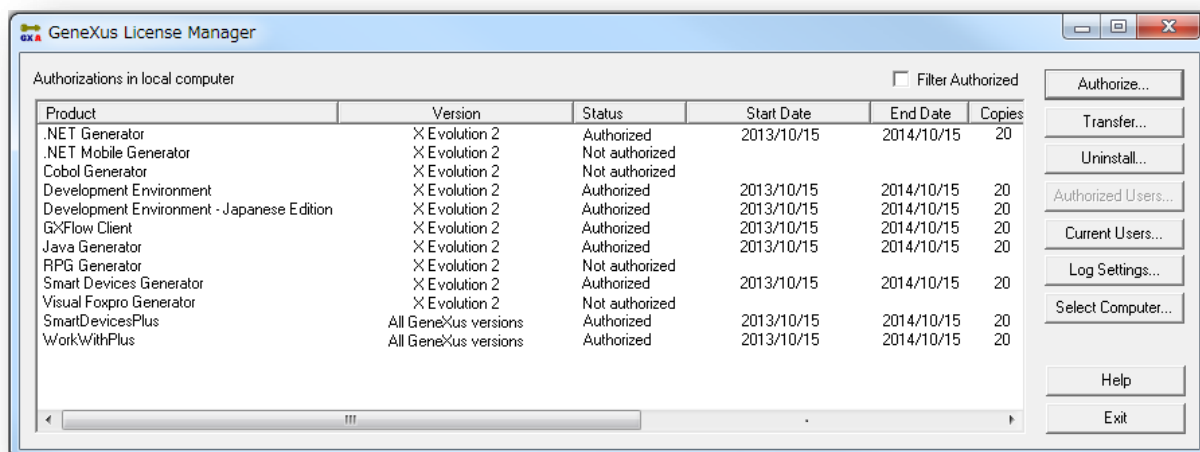
2014 年 10 月 7 日継続請求 → 2015 年 10 月 15 日まで有効のライセンスとして、ライセンスを発行

1 年間分 + 早めにご請求を頂いた日数分をプラスし、ライセンスを発行致します。

次の手順にしたがって、継続ライセンスを請求します。

1. GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します（Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします）。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。





2. 「GeneXus License Manager」の起動時の画面（上図を参照）のスクリーンショットを撮り、保存します。スクリーンショットには「**Product**」、「**Version**」、「**Status**」、「**Start Date**」、「**Copies**」、および「**Restriction**」の「**Validity Days**」の内容が表示されている必要があります。
3. [「新規ライセンス請求」](#)のセクションの手順 2～8 にしたがいます。
4. メールアプリケーションで新規メールを作成し、以下のファイルと情報を keysmaster@genexus.jp に送信します。
 - 「GeneXus License Manager」の起動画面のスクリーンショット
 - 「Windows」フォルダにある「GxProt.log」ファイル
 - 上記の手順で作成した「.gxa」ファイル
 - 注文書に記載されているライセンス番号

以上でオフラインでの継続ライセンス請求は完了です。

ライセンスキーは、上記のファイルを送信したメールアドレスに送信されます。ライセンスを有効にする方法については、後述の「[ライセンスの取得](#)」を参照してください。

重要：ライセンスの発行は DVelop 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行なってください。

ライセンス請求受付時間

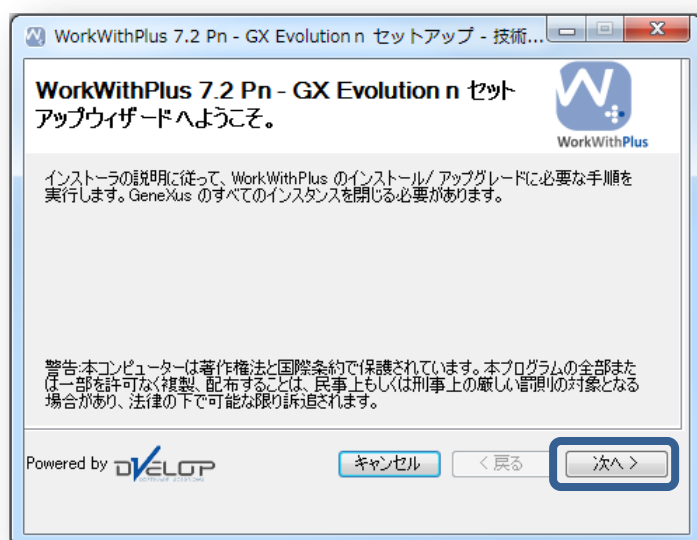
土日祝日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

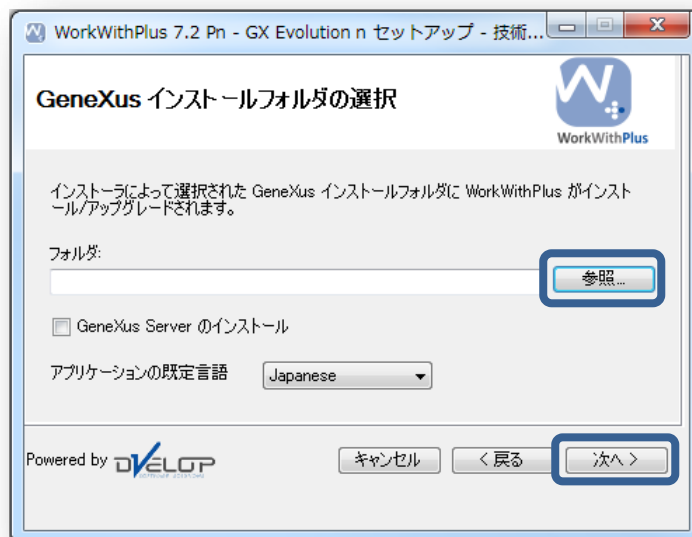
アプリケーションのアップグレード

このセクションでは、既にインストールされている WorkWithPlus を最新版にアップグレードする方法について説明します。

1. GeneXus Japan Web ページから最新の製品版 WorkWithPlus アプリケーションをダウンロードします。
<http://www.genexus.com/products-japan/www?ja>
2. 「DVelopWorkWithPlus_7.2.zip」を解凍します。
3. 「DVelopWorkWithPlus_7.2_Evn_Setup.exe」をダブルクリックして、インストーラを起動します。



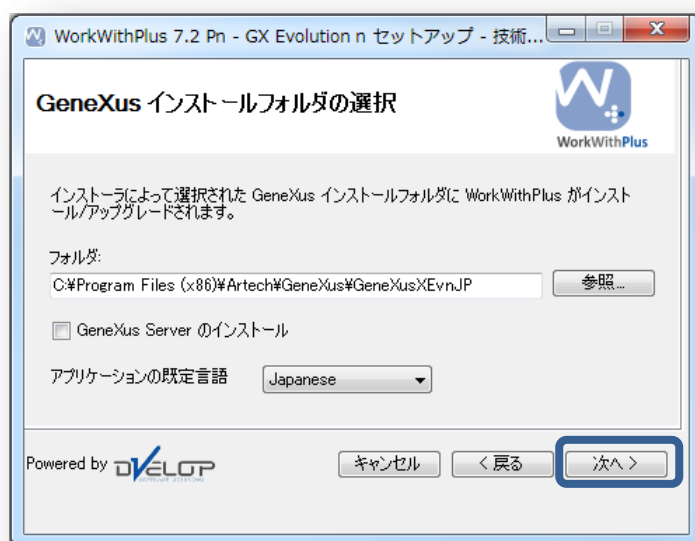
4. 「次へ」をクリックします。次のようなインストール先のフォルダを指定する画面が表示されます。



参考：「GeneXus Server のインストール」チェックボックスは GeneXus Server X もアップグレードする場合にのみ、選択してください。

5. 「参照」をクリックして、次のようにインストール場所を指定します：

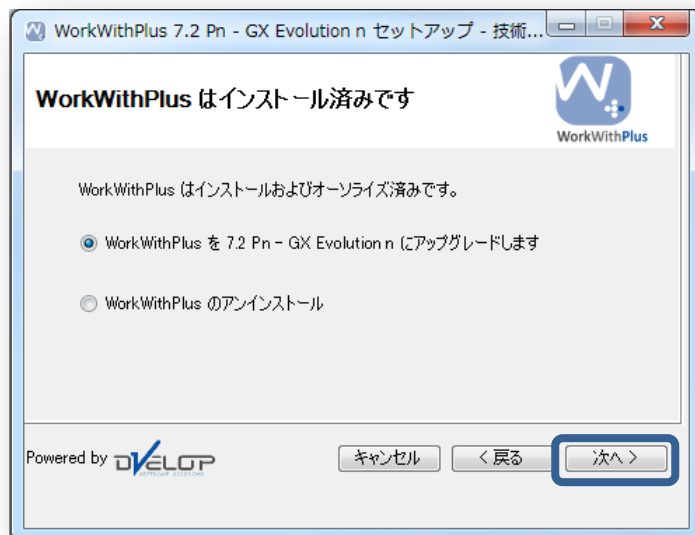
例：「C:\Program Files\Artech\GeneXus\GeneXusXEvnJP」



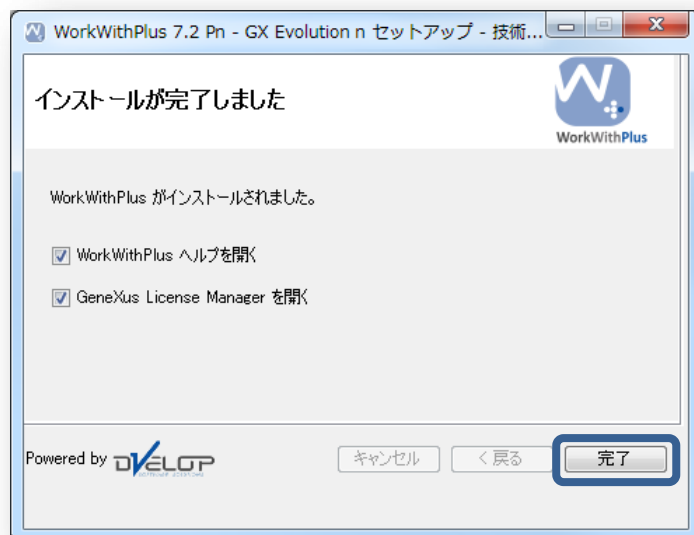
6. 「次へ」をクリックします。



7. WorkWithPlus がインストール済みであることを示す以下のダイアログが表示されます。一番上の WorkWithPlus をアップグレードするオプションを選択し、「次へ」をクリックします。



8. 「次へ」をクリックします。次のようなインストール完了画面が表示されます。



9. 「完了」をクリックします。これでソフトウェアのアップグレードは完了です。「GeneXus License Manager を開く」オプションが選択されている場合（既定）、ライセンスを請求するための「GeneXus License Manager」が開きます。ライセンス請求の必要がない場合には、「GeneXus License Manager」をそのまま閉じてください。



重要：以前のバージョンのライセンスキーファイル（Runtime.config ファイル）が有効期限内である場合、「GeneXus License Manager」によるライセンスの請求は不要です。ただし、次回のライセンス更新の際には、「GeneXus License Manager」によるライセンスの請求が必要となります。ライセンスの請求については前述の「[ライセンスの請求](#)」を参照してください。

参考：正しくアップグレードされていることを確認するには、GeneXus を起動し、GeneXus の「ツール」メニューから「WorkWithPlus」>「ヘルプ」>「WorkWithPlus について」と選択してから、表示されるバージョン情報を参照してください。

ライセンスの取得

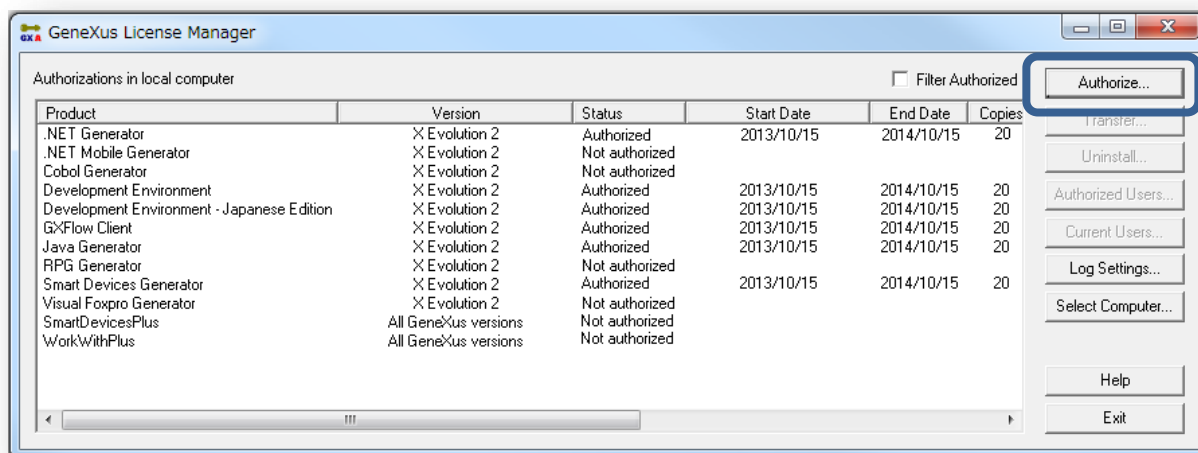
発行されたライセンスキーは、ユーザー登録済みのメールアドレスに送信されます。添付のファイルを開いて、ライセンスを請求したコンピュータにデータを取り込むことでライセンスを登録することができます。

このライセンスファイルを開くと、「**GeneXus License Manager**」が起動して自動的にライセンスキーを取り込み、取り込み結果が画面に表示されます。

ここでは、ライセンスファイルの取り込み手順を説明します。

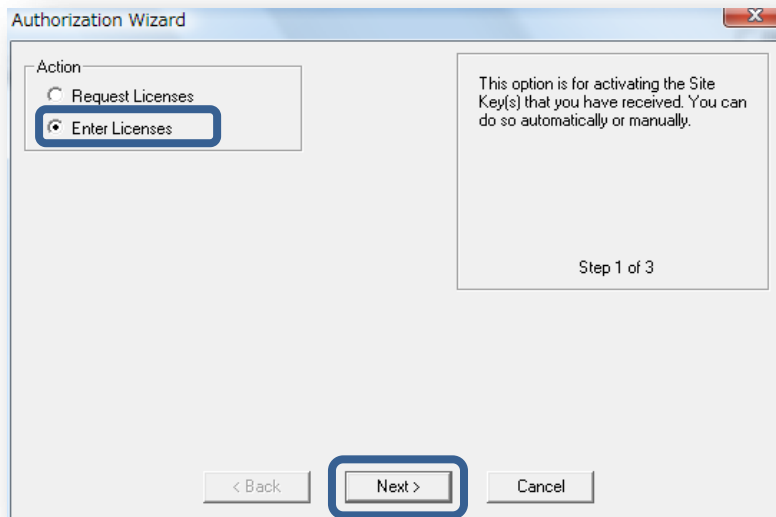
1. メールに添付されたライセンスファイル（.gxa ファイル）を、ライセンスを請求したコンピュータにコピーします。
2. GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します（Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします）。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類とライセンスの状態が表示されます。

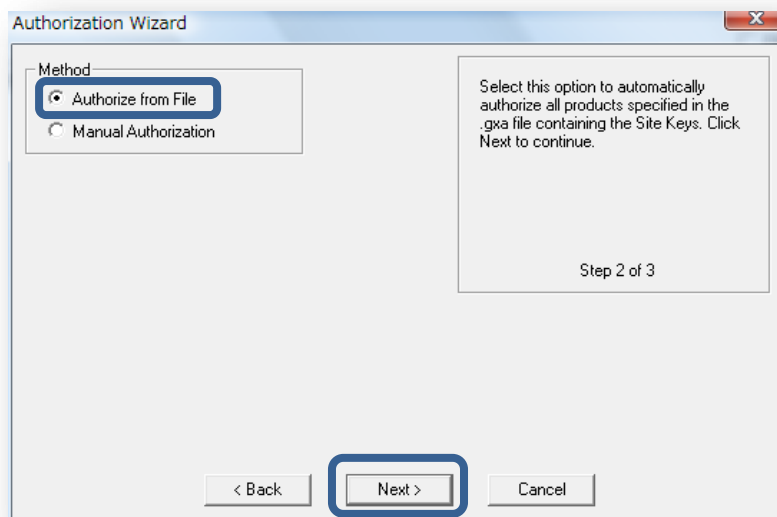


3. ライセンスを更新する場合は、事前にライセンスをアンインストールする必要があります。「[ライセンスのアンインストール](#)」セクションの手順 2~3 にしたがいます。
4. 「**Authorize**」ボタンをクリックします。

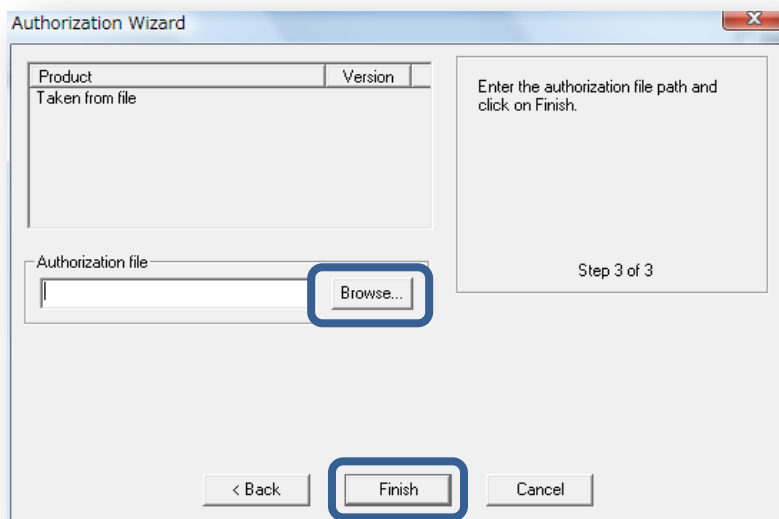
次のような取り込み画面が表示されます。



5. 「**Enter Licenses**」を選択してから「**Next**」ボタンをクリックします。
6. 「**Authorize From File**」を選択して「**Next**」ボタンをクリックします。



次のようなライセンスファイルの選択画面が表示されます。



7. 「**Browse**」ボタンをクリックして、手順 1 でコピーしたファイルを選択し、「**Finish**」ボタンをクリックします。

これでライセンスの取得（登録）は完了です。

ライセンスの移行

複数のライセンスを一括で請求した後で、WorkWithPlus を使用する各ユーザーにトランスファー（.trf）ファイルを作成して配布（移行）することができます。この場合、各ユーザーのコンピューターにインストールされている

「GeneXus License Manager」のバージョンは、ライセンスの移行元のコンピューターにインストールされているバージョンと同一である必要があります。これとは逆に、個別に請求したライセンスを一箇所にまとめることもできます。ただし、ライセンスの有効日数（残存日数）と「GeneXus License Manager」の「Start Date」（開始日）が同じである必要があります。また、この場合も「GeneXus License Manager」のバージョンが同じでなければなりません。

重要：以前のバージョンのライセンスファイル (Runtime.config)をお使いの場合、このセクションに記載されているライセンスの移行方法は適用されません。以前のバージョンのライセンスを移行する方法については、WorkWithPlus 6.2 以前のバージョンに付属のインストールガイドを参照してください。

ライセンスの移行には次の 2 通りの方法があります：

- **Register Transfer:** このオプションは、2 台のコンピューター間で 1 つ以上のライセンスを移行する場合に使用します。2 台のサーバー間、2 台のコンピューター間、サーバーとクライアントコンピューター間、クライアントコンピューターとサーバー間で実行可能です。
- **Direct Transfer:** このオプションでは、ライセンス管理者のコンピューター（ソースマシン）または Protection Server（ソースサーバー）から、同じネットワーク上の別のユーザーのコンピューター（ターゲットマシン）または Protection Server（ターゲットサーバー）に 1 つ以上のライセンスを移行することができます。GeneXus Protection Server がターゲットサーバーにインストールされている必要があります。

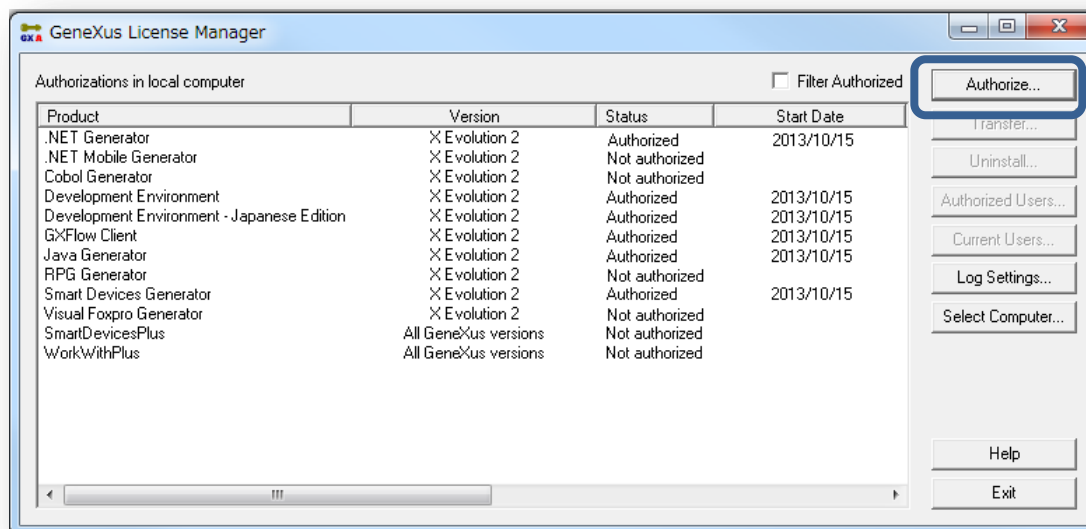
2 台のコンピューター間でライセンスを移行する

ここでは、2 台のコンピューター間で 1 つ以上のライセンスを移行する方法について説明します。この場合、はじめにライセンスの移行先のコンピューター（ターゲットマシン）でライセンス情報の登録用ファイルを作成（Register License）し、次にライセンスがインストールされているコンピューター（ソースマシン）でライセンス情報を書き出し（Transfer Out）、最後にターゲットマシンでライセンスを読み込む（Transfer In）操作を実行する必要があります。

重要：ライセンスを移行する前に各ユーザーのコンピューターおよびサーバーにインストールされている「GeneXus License Manager」のバージョンが同じであることを確認してください。異なるバージョン間ではライセンスの移行はできません。

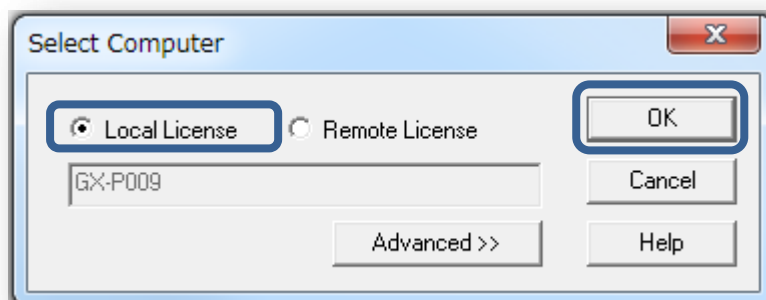
1. ターゲットマシン（ライセンスの移行先）の GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します（Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします）。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。



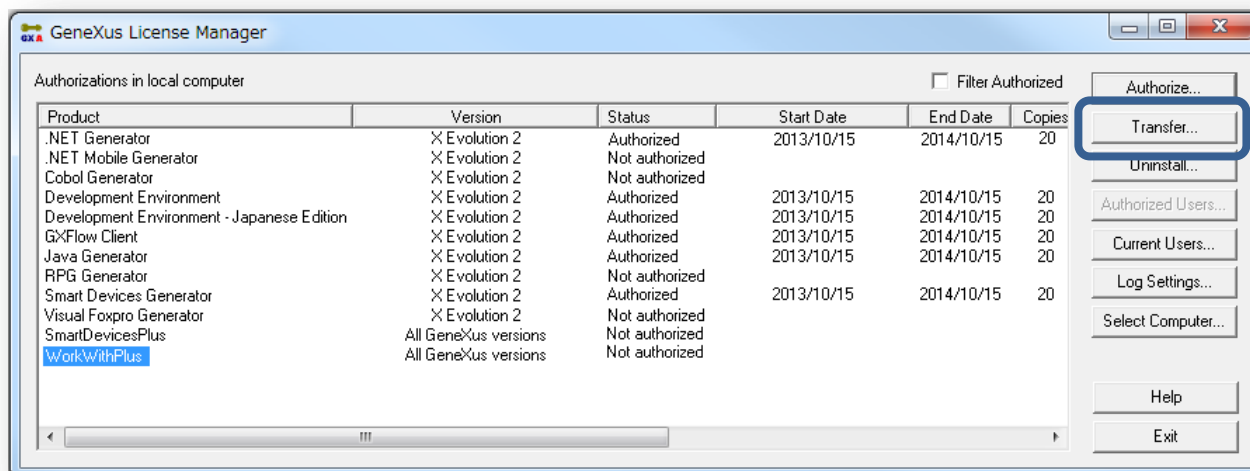
この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。

2. 「**Select Computer**」をクリックします。「Select Computer」ウィンドウが表示されます。

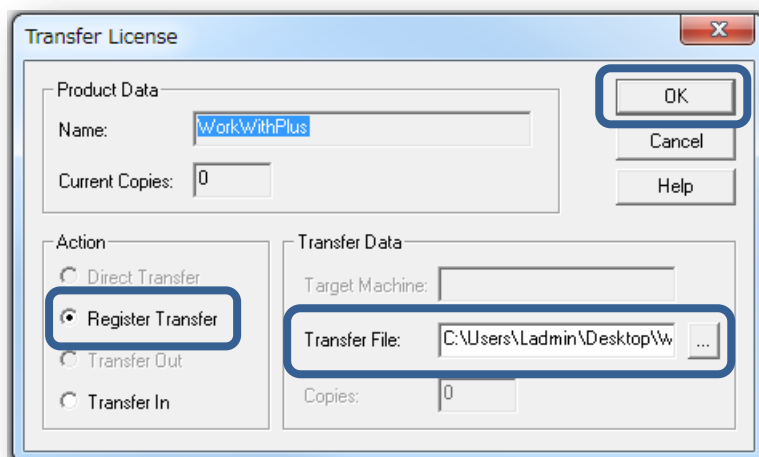


3. 「**Local License**」のオプションが選択されていることを確認し、「**OK**」ボタンをクリックします。

「License Manager」の起動画面に戻ります。



- 「Product」から「WorkWithPlus」を選択し、「Transfer」ボタンをクリックします。
- 「Transfer License」画面が表示されたら、「Action」セクションの「Register Transfer」を選択し、「Transfer File」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、「GxProt.trf」ファイルの保存先を指定します。

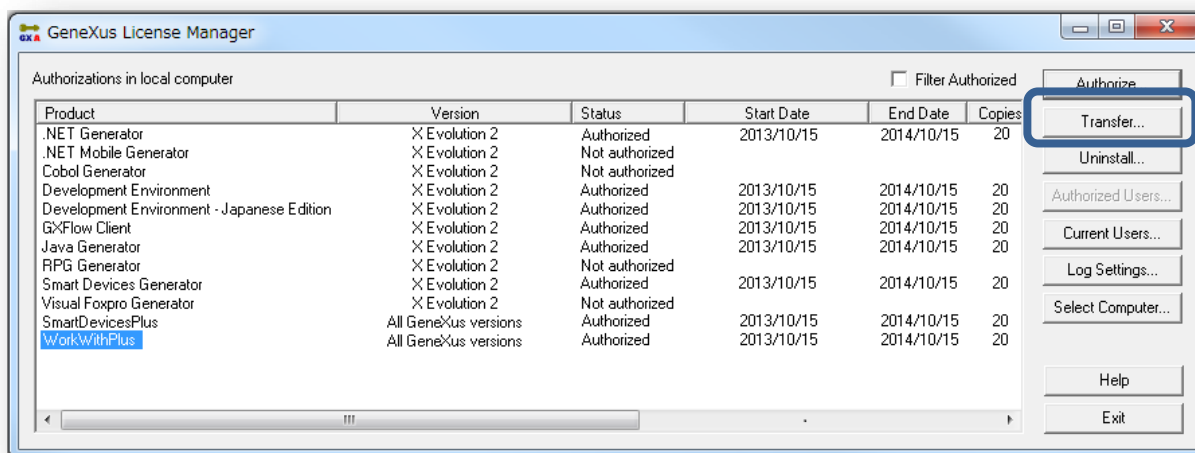


参考：「GxProt.trf」は既定のファイル名です。「.trf」の拡張子を持つ、任意のファイル名に変更してください。

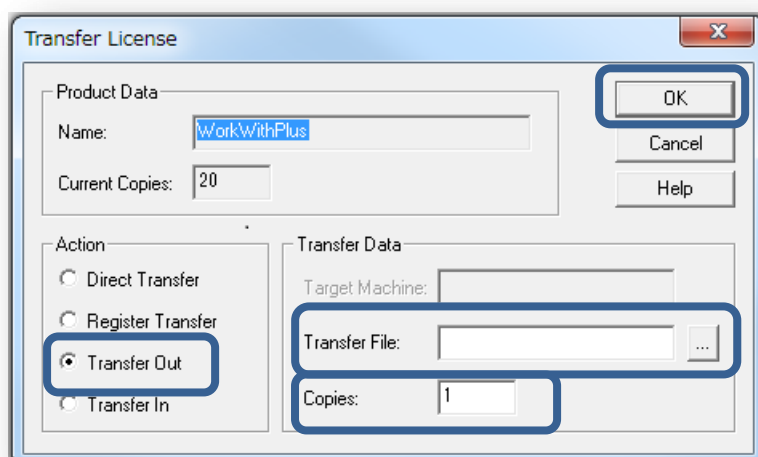
- 「OK」をクリックします。ほかにも移行したいライセンスがある場合は手順4～6を繰り返します。
- 「GxProt.trf」ファイル（複数のライセンスを移行する場合はすべての.trfファイル）をソースマシン（ライセンスキーがインストールされているコンピューター）にコピーします。

この後、ソースマシン（ライセンスの移行元）で操作を行います。

8. ソースマシンから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します。次のような画面が表示されます。



9. 「Product」から「WorkWithPlus」を選択し、「**Transfer**」ボタンをクリックします。
10. 「**Action**」セクションの「**Transfer Out**」を選択し、「**Copies**」フィールドに必要な数を入力してから、「**Transfer File**」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、手順 5 の「**GxProt.trf**」ファイルを選択します。

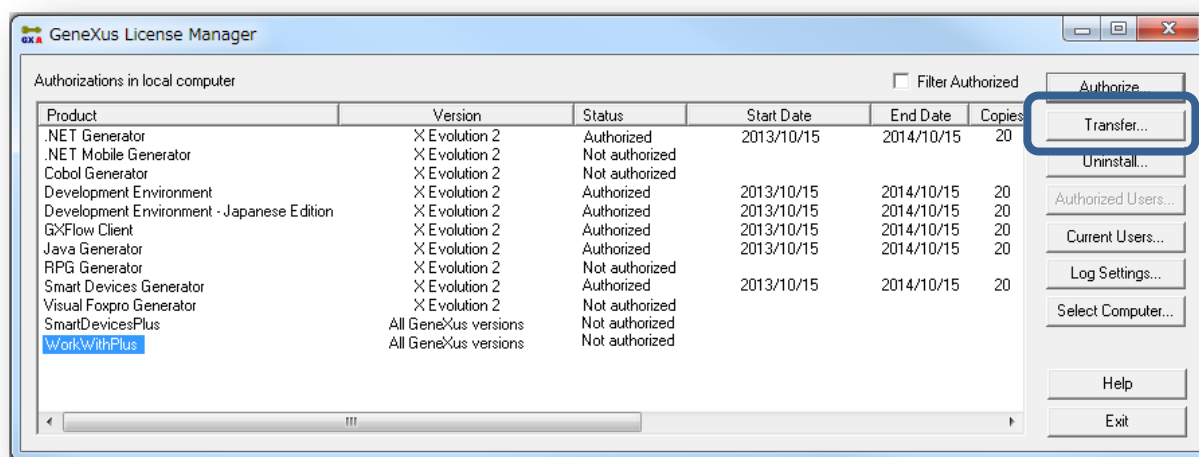


11. 「**OK**」をクリックします。ほかのライセンスも移行する場合は手順 9～11 を繰り返します。

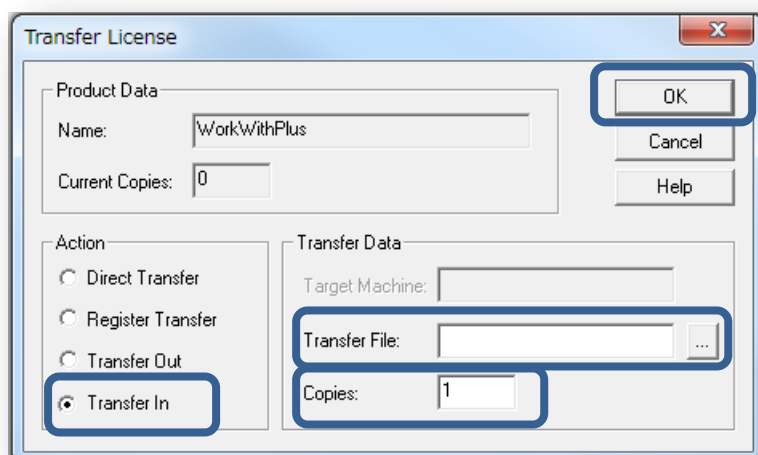
12. ライセンスデータを格納した「GxProt.trf」ファイル（複数のライセンスを移行する場合はすべての .trf ファイル）をターゲットマシン（ライセンスの移行先）のにコピーします。

この後ターゲットマシン（ライセンスの移行先）に戻って操作を行います。

13. ターゲットマシンから「GeneXus License Manager」アプリケーションを起動します。次のような画面が表示されます。



14. 「Product」から「WorkWithPlus」を選択し、「Transfer」ボタンをクリックします。
15. 「Action」セクションの「Transfer In」を選択し、「Transfer File」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、手順 12 の「GxProt.trf」ファイルを選択します。



16. 「OK」をクリックします。ほかのライセンスも移行する場合は手順 14～16 を繰り返します。
これでライセンスの移行は完了です。



重要： ターゲットマシンでトランスファー(.trf)ファイルを作成後に、もう一度 .trf ファイルを作成しようとする、警告画面が表示されます。これは .trf ファイルに格納される情報が異なるためです。はじめに作成されたファイルを使って、ソースマシンですでに「Trasnfer Out」処理が実行された場合、もう一度2度目に作成した .trf ファイルを使って「Transfer Out」処理をやりなおす必要があります。

ネットワーク上のユーザーにライセンスを移行する

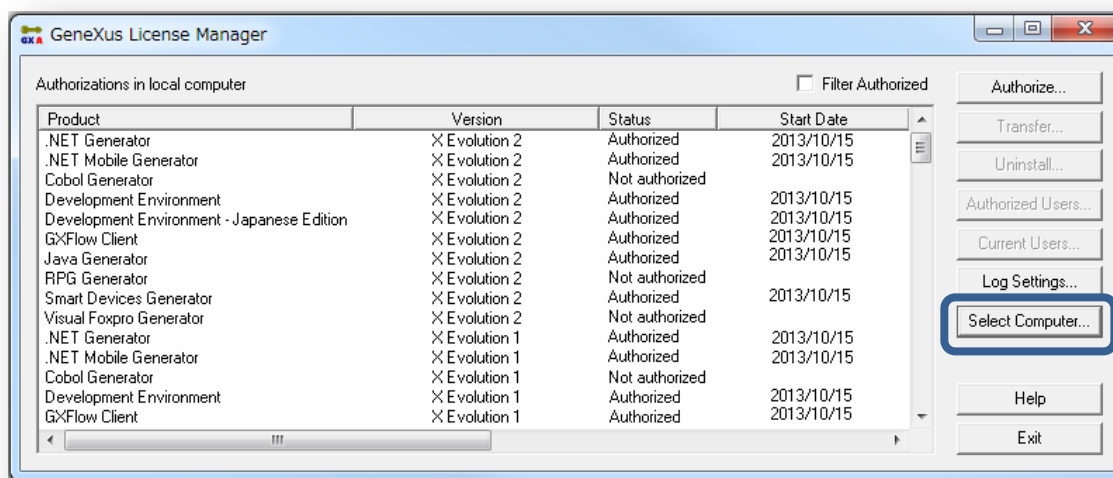
このセクションでは、Protection Server（ソースサーバー）またはライセンス管理者のコンピューター（ソースマシン）からネットワーク上の別のユーザーのコンピューター（ターゲットマシン）またはサーバー（ターゲットサーバー）にライセンスを移行する方法について説明します。

重要：ライセンスを移行する前に各ユーザーのコンピューターおよびサーバーにインストールされている「GeneXus License Manager」のバージョンが同じであることを確認してください。異なるバージョン間ではライセンスの移行はできません。

重要：複数の製品のライセンスを移行する場合、製品ごとにトランスファーファイルを作成する必要があります。ただし、同一製品のライセンスであれば、1つのトランスファーファイルに複数格納することができます。

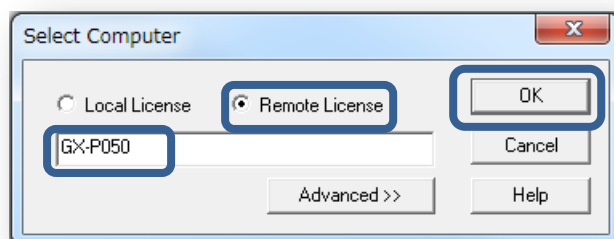
Protection Server からライセンスを移行する

1. ターゲット（ライセンスの移行先）マシンまたはサーバーの GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します（Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします）。
「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。

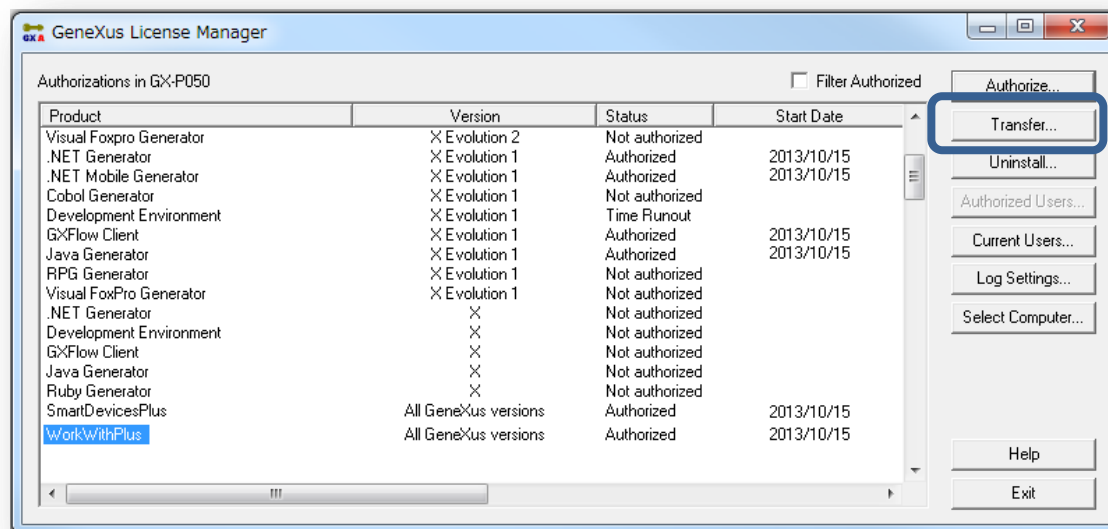


この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。

2. 「**Select Computer**」ボタンをクリックします
3. 「**Remote License**」ボタンをクリックして、すぐ下の入力フィールドにソースサーバー（ライセンスの移行元）の IP アドレスまたは名前を指定し、「**OK**」ボタンをクリックします。

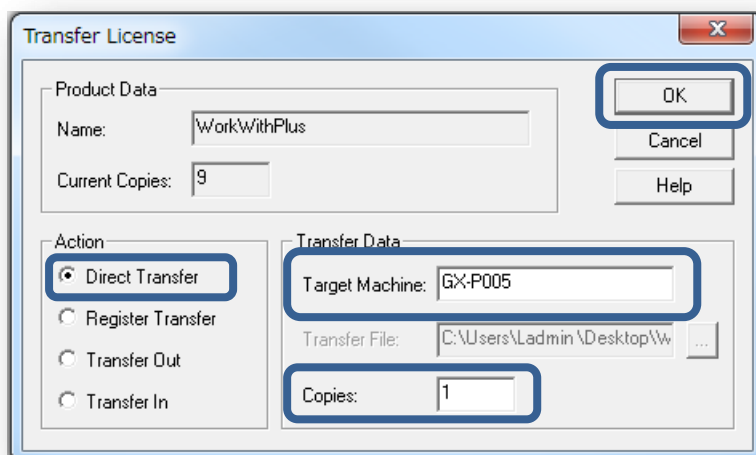


4. ソースサーバー（ライセンスの移行元）のライセンスが表示されたら、「WorkWithPlus」を選択し、「Transfer」をクリックします。



参考：上図では、ライセンスの移行元（この例では GX-P050 という名前のサーバー）のライセンスの状態が表示されています。また、画面左上には、「Authorization in GX-P050」と表示され、リモートでソースサーバーのライセンスを参照していることを示しています。

5. 「Action」セクションの「Direct Transfer」ボタンをクリックし、「Target Machine」フィールドにターゲットマシン（ライセンスの移行先のコンピューターまたはサーバー）を指定し、「Copies」フィールドに移行するライセンス数を指定します。

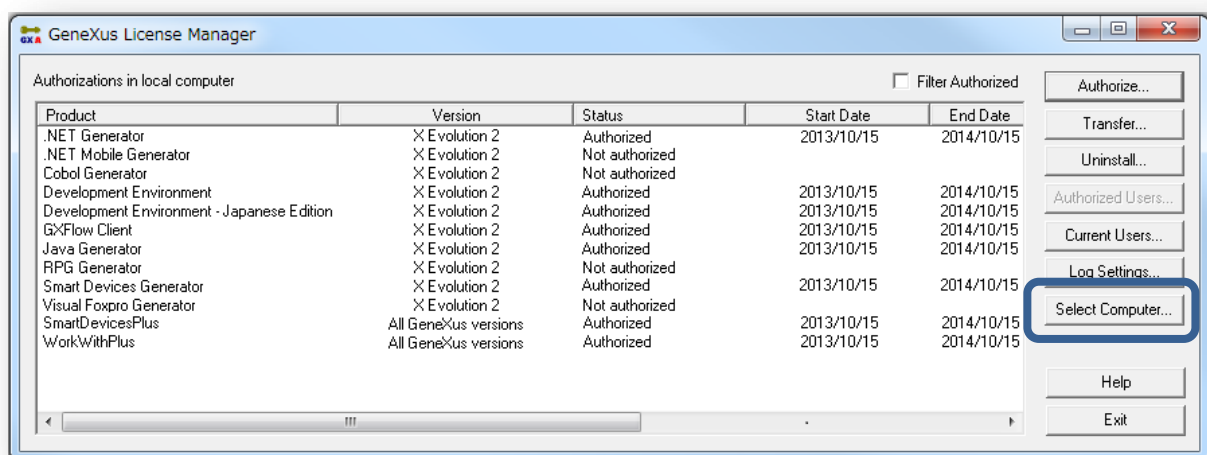


6. 「OK」をクリックします。これでライセンスの移行は完了です。

ライセンスがインストールされているマシンからライセンスを移行する

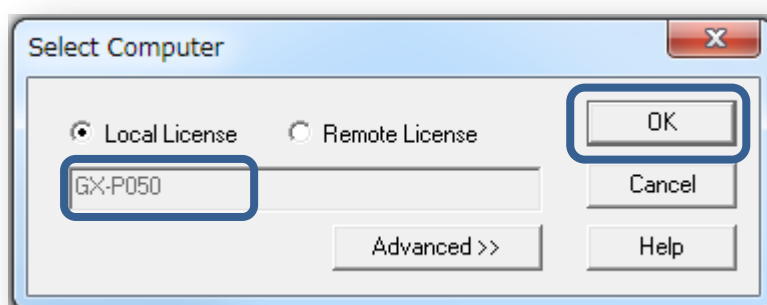
1. ソースマシン（ライセンスがインストールされているコンピューター）の GeneXus のプログラムグループから「GeneXus License Manager」アプリケーションを起動します（Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「GeneXus License Manager」のショートカットを右クリックして「管理者として実行」オプションをクリックします）。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。



この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。

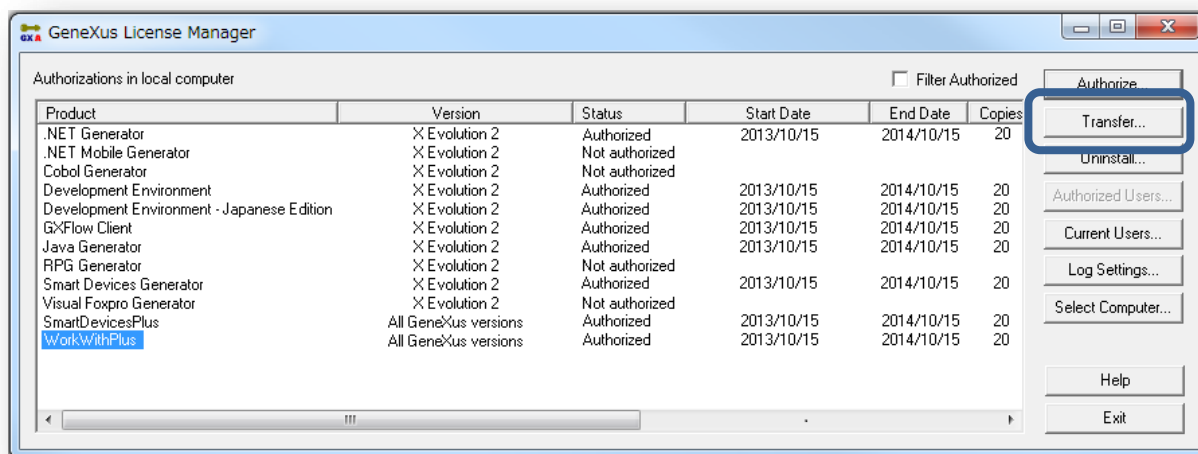
2. 「Select Computer」をクリックします。「Select Computer」ウィンドウが表示されます。



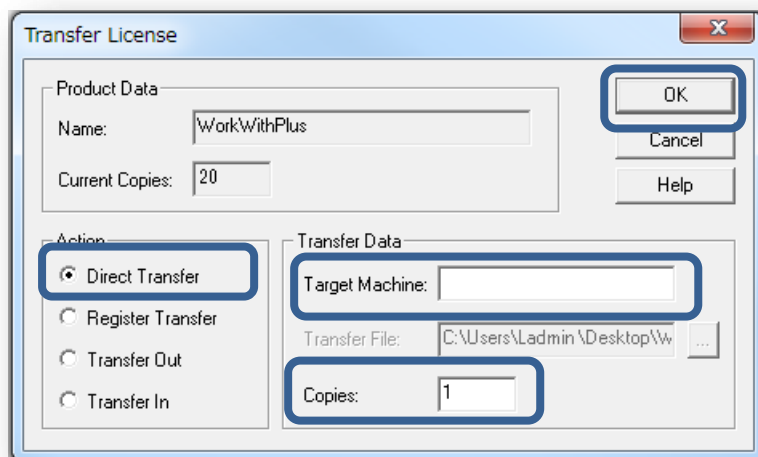
3. 「Local License」のオプションが選択されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。

「License Manager」の起動画面に戻ります。

4. 「Product」から「WorkWithPlus」を選択し、「Transfer」をクリックします。



5. 「Action」セクションの「Direct Transfer」ボタンをクリックし、「Target Machine」フィールドにターゲットマシン（ライセンスの移行先のコンピューターまたはサーバー）を指定し、「Copies」フィールドに移行するライセンス数を指定します。



6. 「OK」をクリックします。ほかのライセンスも移行する場合は手順 2～5 を繰り返します。
これでライセンスの移行は完了です。

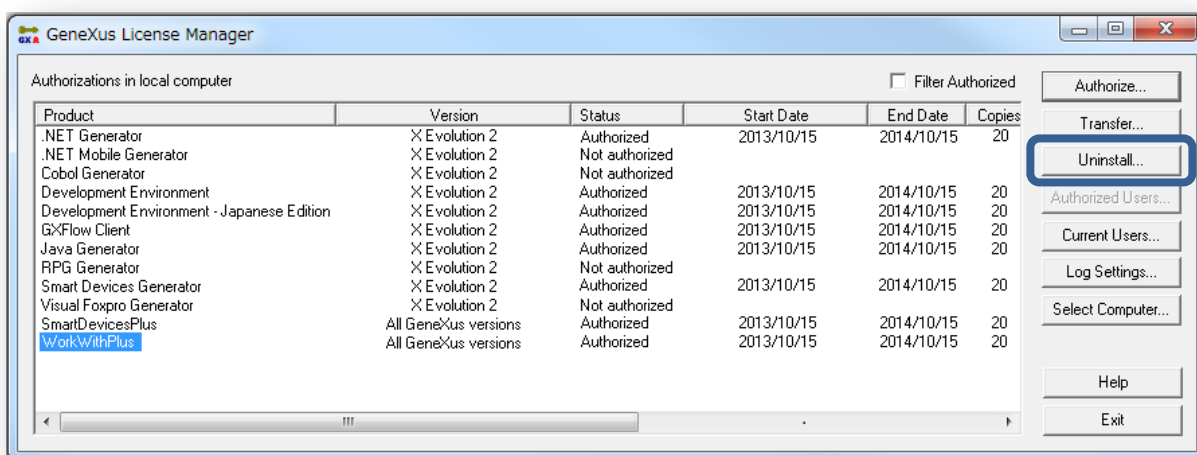
参考： 移行するライセンスがコンピューターにインストールされている場合、「Direct Transfer」オプションはそのコンピューター（ソースマシン）から実行する必要があります。移行するライセンスがサーバーにインストールされている場合には、ソースサーバーからでもターゲットサーバーからでも実行することができます。

ライセンスのアンインストール

ここではライセンスをアンインストールする方法について説明します。

1. GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します
(Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

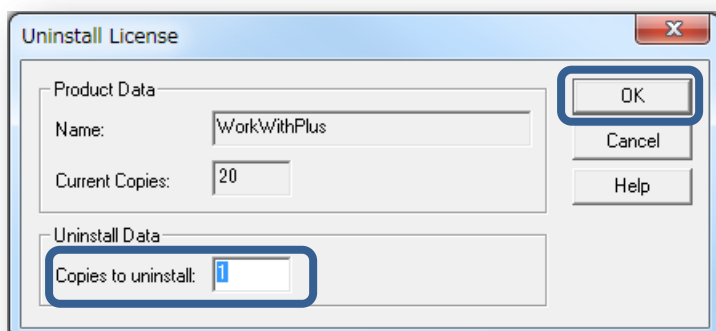
「**GeneXus License Manager**」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。



2. アンインストールする製品を選択してから、「**Uninstall**」ボタンをクリックします。

次のような「**Uninstall License**」画面が表示されます。

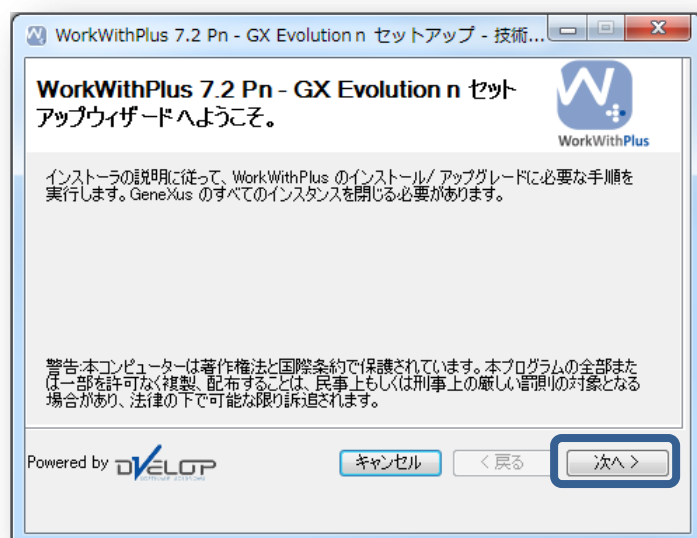
3. 「**Copies to uninstall**」フィールドにアンインストールするライセンス数を入力してから「**OK**」をクリックします。これでライセンスのインストールは完了です。



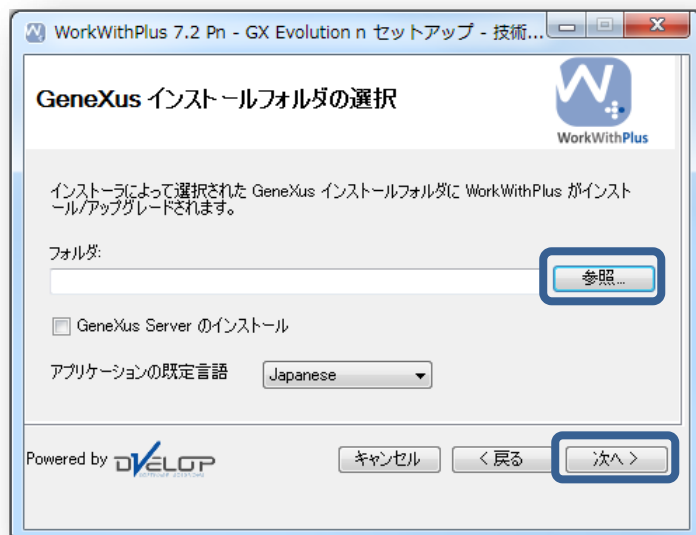
アプリケーションのアンインストール

このセクションでは、アプリケーションのアンインストールについて説明します。最新バージョンの WorkWithPlus では従来のバージョンと異なり、アプリケーションをアンインストールする場合、事前にライセンスをアンインストールする必要はありません。

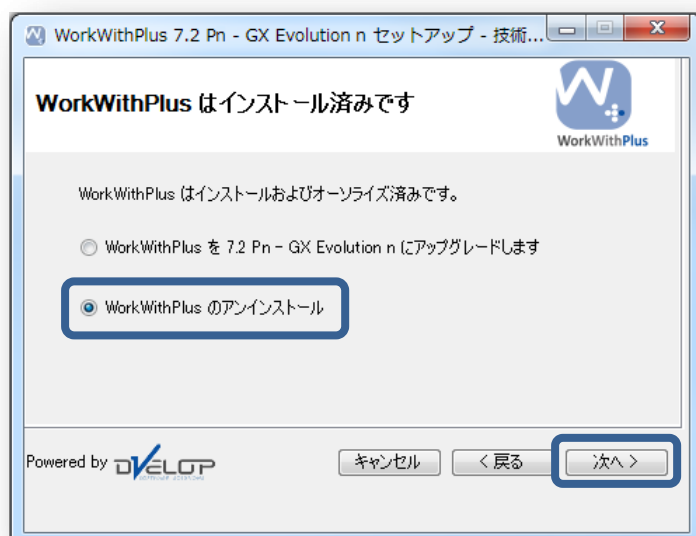
1. GeneXus Japan Web ページから製品版の WorkWithPlus のアプリケーションをダウンロードします。
<http://www.genexus.com/products-japan/www?ja>
2. 「DDevelopWorkWithPlus_7.2.zip」を解凍します。
3. 「DDevelopWorkWithPlus_7.2_Evn_Setup.exe」をダブルクリックして、インストーラを起動します。



4. 「次へ」をクリックします。次のようなインストール先のフォルダを指定する画面が表示されます。



5. 「参照」をクリックして、次のようにインストールされている場所を指定します:
「C:\Program Files\Artech\GeneXus\GeneXusXEv2JP」
6. 「次へ」をクリックします。
7. WorkWithPlus がインストール済みであることを示す以下のダイアログが表示されます。
「WorkWithPlus のアンインストール」のラジオボタンを選択し、「次へ」をクリックします。





8. 次のようなメッセージが表示されます。「完了」をクリックします。



これで WorkWithPlus アプリケーションのアンインストールは完了です。

ライセンスの再発行について

このセクションでは、予期せぬトラブルで WorkWithPlus をインストールしているコンピューターが故障し、ライセンスの再発行が必要になった場合の手順について説明します。

トラブルによっては、エビデンスファイルを提出できる場合と、ハードウェアの破損により、エビデンスファイルを提出できない場合があります。それぞれのケースに応じた手順を説明します。

エビデンスファイルを提出できる場合

GeneXus License Manager のステータスを確認する

WorkWithPlus が起動しない場合、「GeneXus License Manager」の「Status」欄に次のようなステータスが表示されている可能性があります：

- Suspended, data changed
- Suspended, authorization data changed

このようなステータスが表示される場合、次のことが考えられます。

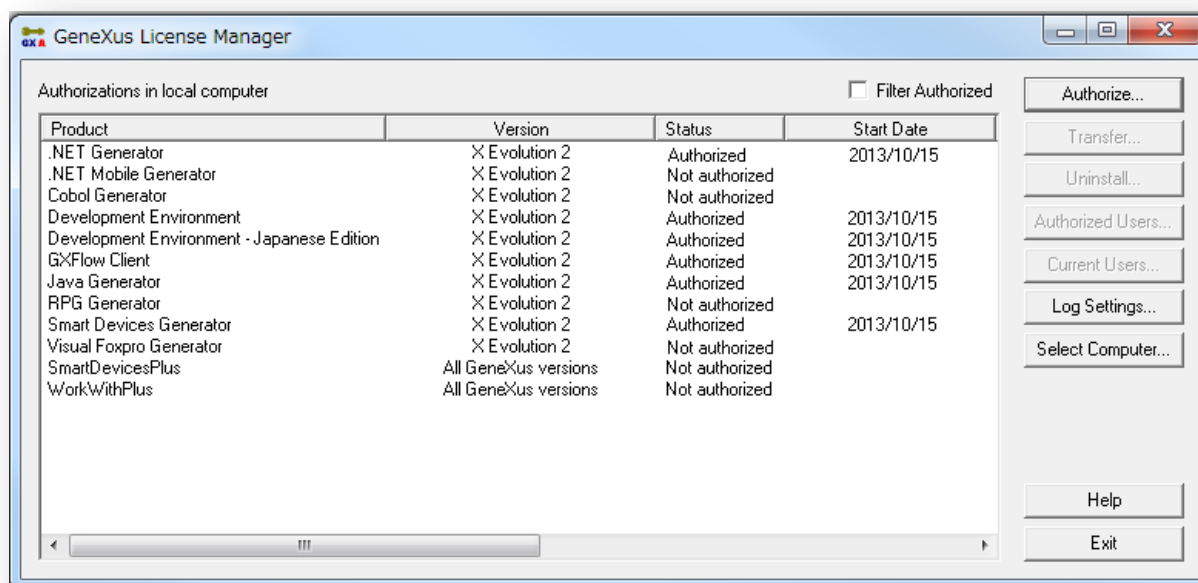
- GeneXus X Ev2 がインストールされている端末のシステム日付の変更
- レジストリー情報の修正
- OS のアップデートによるシステムの変更
- OS の不具合

重要： GeneXus および WorkWithPlus をインストールしているコンピューターでは、システム日付を変更したり、レジストリー情報を書き換えたりしないでください。「GeneXus License Manager」がシステムデータに不正な変更が加えられたと判断し、GeneXus が使用できなくなる可能性があります。

エビデンスファイルを作成する

1. GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します
(Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。



この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。

2. 「GeneXus License Manager」の起動時の画面（上図を参照）のスクリーンショットを撮り、保存します。
このスクリーンショットには「**Product**」、「**Version**」、「**Status**」、「**Start Date**」、「**Copies**」、および「**Restriction**」の「**Validity Days**」の内容が表示されている必要があります。
3. 「[新規ライセンス請求](#)」セクションの手順 2～7 にしたがいます。
4. メールアプリケーションで新規メールを作成し、以下のファイルを keystmaster@genexus.jp に送信します。
 - 「GeneXus License Manager」の起動画面のスクリーンショット
 - 「Windows」フォルダにある「GxProt.log」ファイル
 - 上記の手順で作成した「.gxa」ファイル



エビデンスファイルを提出できない場合

弊社に「ライセンス再発行依頼書」を請求し、必要事項を明記のうえ、社判を押印してから弊社に郵送してください。再発行依頼書の確認後に弊社より連絡を差し上げますので、別途ライセンスの請求手続きを行ってください。ライセンス請求については、前述の「[ライセンスの請求](#)」を参照してください。ライセンス喪失により「緊急ライセンス」の貸与が必要な場合は、後述の「[緊急ライセンスの発行依頼](#)」参照してください。

緊急ライセンスの発行依頼

GeneXus Japan ではトラブルによりライセンスを喪失されたお客さまのために「緊急ライセンス」を用意しています。これはライセンスが再発行されるまでの暫定的な処置として用意されている 15 日間限定のライセンスです。緊急ライセンスを取り込んだ後に、必ずライセンスの再発行を請求してください。ライセンスの再発行の方法については、前述の「[ライセンスの再発行について](#)」を参照してください。

緊急ライセンスを利用するには

次のような手順を実行する必要があります：

1. 「緊急ライセンス」が必要な旨を弊社にメールまたは電話で連絡する
2. 必要に応じて以下のいずれかを実行する
 - WorkWithPlus ライセンスをアンインストールする（前述の「[ライセンスのアンインストール](#)」を参照）
 - WorkWithPlus をインストールする（前述の「[アプリケーションのインストール](#)」を参照）
3. 緊急ライセンスをインストールするためのトランスファーファイルを作成する（後述の「[緊急ライセンス用トランスファーファイルを作成する](#)」を参照）
4. 緊急ライセンス用のトランスファーファイルを GeneXus Japan に送信する（後述の「[緊急ライセンス用トランスファーファイルを作成する](#)」を参照）
5. GeneXus Japan より返送されたトランスファーファイル（緊急ライセンス格納済み）をトランスファーファイルを作成したコンピューターに取り込む（後述の「[トランスファーファイルを取り込む](#)」を参照）

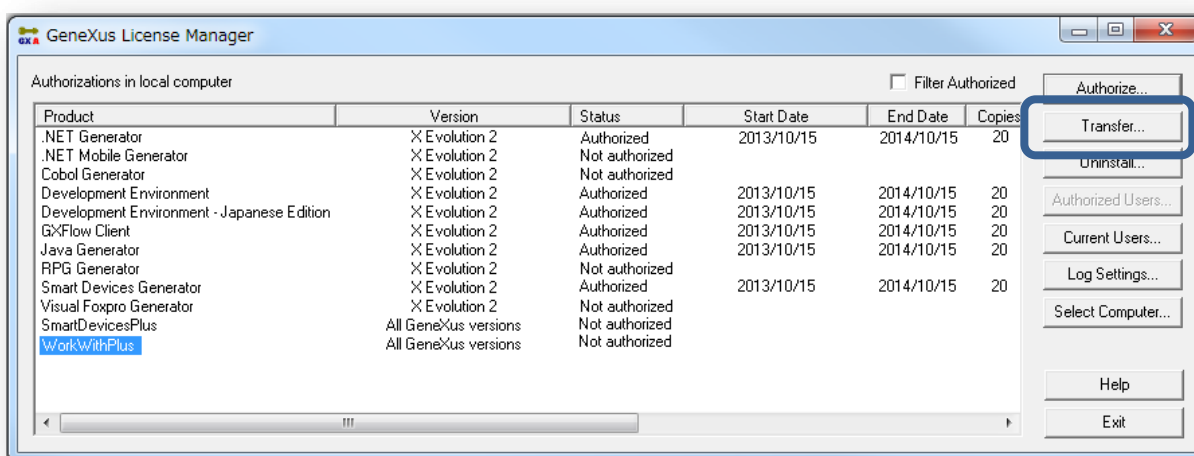
注意：取り込み完了日時を弊社までメールまたは電話でご連絡ください。

6. 緊急ライセンス取り込み完了後、緊急ライセンスが失効する前に緊急ライセンスをアンインストールしてから、正規のライセンス再発行を請求する（前述の「[ライセンスの再発行について](#)」を参照）

緊急ライセンス用トランスファーファイルを作成する

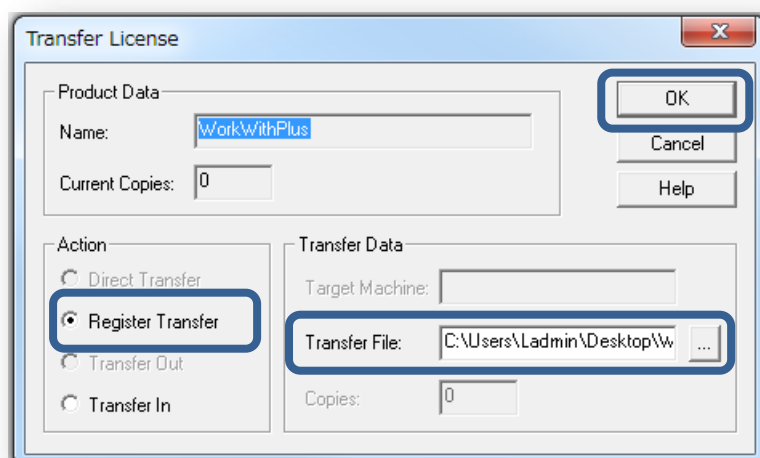
1. GeneXus のプログラムグループから「**GeneXus License Manager**」アプリケーションを起動します
(Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**GeneXus License Manager**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。



この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。

2. WorkWithPlus を選択してから、「**Transfer**」ボタンをクリックします。
「Transfer License」画面が表示されます。



3. 「Action」セクションの「Register Transfer」を選択し、「Transfer File」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、「GxProt.trf」ファイルの保存先を指定します。

参考：「GxProt.trf」は既定のファイル名です。「.trf」の拡張子を持つ、任意のファイル名に変更してください。

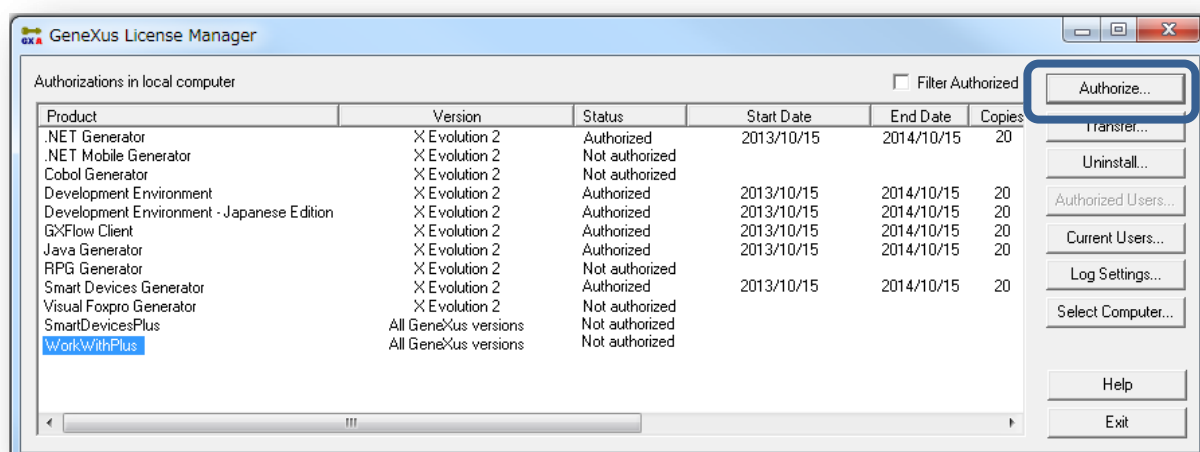
4. 「OK」をクリックします。
5. 上記の手順で作成したトランスファーファイルをご購入の販売店または GeneXus Japan に送信します。
製品名(WorkWithPlus)とライセンス数を明記のうえ、トランスファーファイルをご購入の販売店または次のメールアドレスまで送信してください：keystmaster@genexus.jp

トランスファーファイルを取り込む

1. 緊急ライセンス用のトランスファーファイルを作成したコンピューターにご購入の販売店または GeneXus Japan から返送されたすべての.trf ファイルをコピーします。
2. 手順 1 のコンピューターの GeneXus のプログラムグループから「GeneXus License Manager」アプリケーションを起動します (Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「GeneXus License Manager」のショートカットを右クリックして「管理者として実行」オプションをクリックします)。

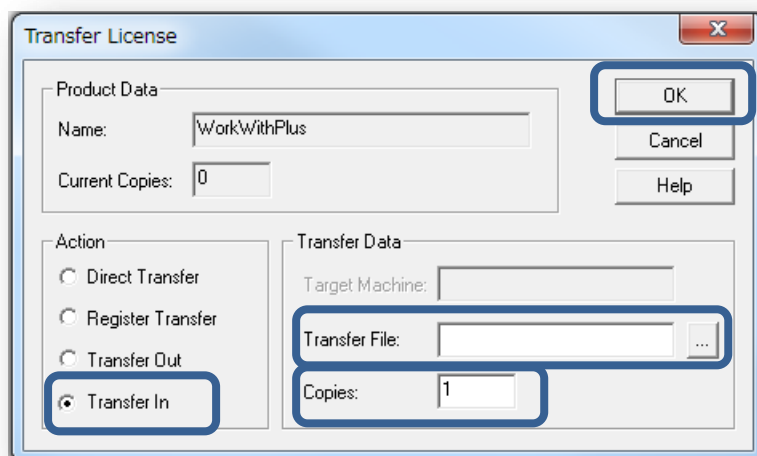
「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。

この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。



3. 緊急ライセンスを請求した製品名を選択してから、「**Transfer**」ボタンをクリックします。

「Transfer License」画面が表示されます。



4. 「**Action**」セクションの「**Transfer In**」を選択し、「**Transfer File**」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、手順 1 の.trf ファイルを選択します。

5. 「**OK**」をクリックします。ほかのライセンスも読み込む場合は手順 3～5 を繰り返します。

これで緊急ライセンスの取り込みは完了です。

ライセンスが再発行されたら、緊急ライセンスをアンインストールしてから、再発行されたライセンスを取り込む必要があります。詳しくは前述の「[ライセンスのアンインストール](#)」および「[ライセンスの取得](#)」を参照してください。